



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban

2023 年が始まりました～！みなさんの今の学年もあと 2 か月でおしまいですね。

このあとの主な検定試験は、1/29 全珠連検定(3 級以上)・2/26 パソコン検定・3/19 全珠連検定(3 級以上)…と続きます。

特に 3 月全珠連検定は通常月より 1 週間早まりますし、おまけに 2 月はカレンダーが少ないので、1 月検定のあとすぐに 3 月検定がやってくる感じがします。受験予定の皆さん、気合を入れてゴールまで完走しましょう～！

塔ノ木教室は 2 月 11 日(土) 建国記念の日・2 月 23 日(木) 天皇誕生日はともに **お休み** です。

希望する生徒はこの日の前後に高見教室に来てもらっても OK です。



ワーキングメモリ を鍛える 《そろばん》

あまり馴染みがないかも知れませんが、ワーキングメモリという言葉をご存じですか？

例えば働いている方なら、「朝一番で目の前の仕事を処理しながら、その日の打ち合わせの開始時間を気にしつつ、他の仕事のスケジュールを考える」とか、日常のシーンなら「料理をしながら掃除・洗濯をする」などがあたります。学校では、国語のテストで問題文を読んで問いに答える時は、問題文の内容を覚えておきながら解答をしているでしょう。

この様に一時的に情報を覚えておきながら、作業する能力のことを「ワーキングメモリ」と呼んでいます。つまり、ワーキングメモリとは、行動を起こしたり、問題を解いたりするために必要な情報を、一時的に置いておくための「勉強机」のようなものです。

ワーキングメモリの大きさは人により異なり、この器を大きくしていくと、記録したり整理できる情報量が多くなるので、複雑な計算問題や文章読解ができるようになったり、一度に 2 つ以上の指示を出されてもできるようになります。

逆にこのメモリの容量が小さいと、・複数の指示を覚えられない ・授業に集中できない ・読み書きや計算ができない ・忘れ物や失くしものが多い などの困った点が起きやすくなります。



脳科学の世界ではこのワーキングメモリの強化に、そろばん学習は適していると言われています。

例えば暗算 1 級で出題される掛け算 (68×397) を解こうとすると、アタマの中に 6×397 の答え 2,382 のそろばんの珠をイメージしながら、その上に 8×397 の珠を足していきます。当初は戸惑う生徒も、繰り返し練習していくうちにこのレベルの問題なら 10 秒以内で解けるようになります。このアタマの中での反復トレーニングがワーキングメモリを鍛えるのにとっても役立ちます。

ほかにも、そろばん学習がとりわけ脳に良いとされている点には次のようなものがあります。

✓ 指を使うことで集中力を高める

そろばん 1 級問題 $93,428 \times 4,523$ の計算をする際には、九九を 20 回唱えるし、50 回以上も指が珠にタッチします。これらを瞬間的に、そして正確に行い続けることにより、自然と集中力が身に付いていきます。

✓ 左右の脳をバランスよく

以前からそろばん学習は右脳を使うことが良く知られていますが、最近の調査では有段者が暗算をしているときは左右の脳がバランスよく活発に使われていることが分かってきました。そろばん未経験者が左脳で計算するところ、そろばんでは左右の脳をバランスよく使っているのが、脳の発育に理想的な方法と言えます

✓ 効果的な読上げ算

耳から入ってくる数字を即座に珠に置き換え、目で確認しながら盤上に置いていく作業は脳のさまざまな機能を活性化させます。速く・正しく聞き取った数字を瞬時に珠に置き換えていく訓練は最高の脳トレと言えるでしょう。



自分のワーキングメモリをチェック!(難易度 ★★★☆☆)

みなさん、出来そうですか? わたしも挑戦してみました結果は…ちょっと言えません(笑)

1. 次の 4 つの単語を声に出して反復し、覚えてください。(ぼうし) (そうじき) (パン) (せっけん)

2. タコの足からカエルの足の数を引くと?()

3. 以下の単語を逆から声に出して読んでください。(冷蔵庫)

4. 最初に覚えた 4 つの単語をもう一度声に出して言ってください。() () () ()

